MES-CG08-061-20

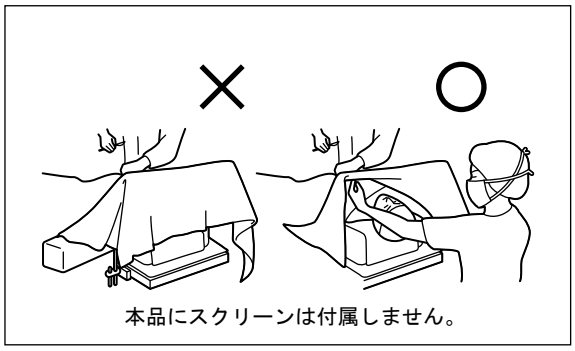
＊＊２０２４年 １ 月（第４版）
＊２０１６年 ６ 月（第３版）（新記載要領に基づく改訂）

製造販売届出番号：13B1X00306N10016

器０１　手術台及び治療台
一般医療機器　　手術台アクセサリー　　(70469000)

ウイング式スクリーン掛

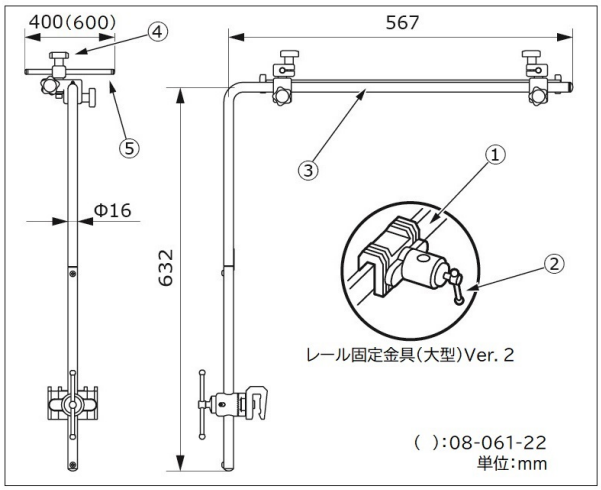
＊＊＊【禁忌・禁止】
＜使用方法＞
１．他社製手術台では使用しないこと。［他社製手術台での使用可能は確認していません。］
２．スクリーンで患者の顔を覆わないこと。［患者の顔にスクリーンがかかったらすぐに上げてください。］



＊＊＊【形状・構造及び原理等】

１．　外観図

標準・開大棒



商品コード	商品名
08-061-20	ウイング式スクリーン掛　固定金具付 注
08-061-22	ウイング式スクリーン掛　開大棒 600ｍｍ　注
08-110-01	レール固定金具（大型）Ver.2

注：付属の固定金具は 08-110-01

２．質量

本体：2.9 kg（08-061-20）・3.1 kg（08-061-22）
レール固定金具（大型）：0.9 kg
注：本体は固定金具を含む質量

３．原材料

標準・開大棒

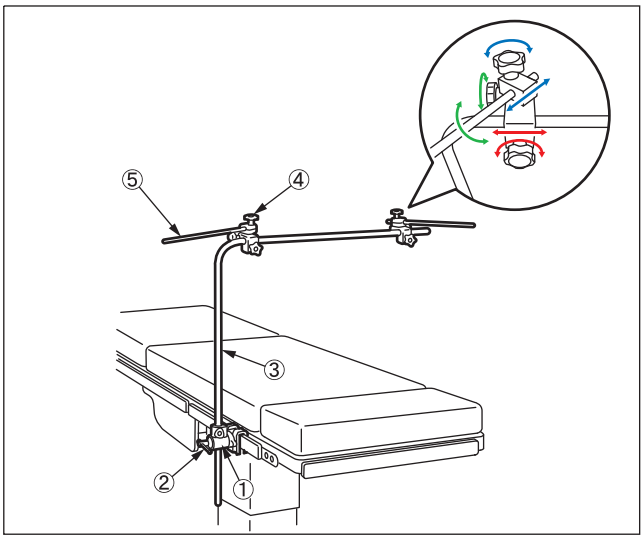
レール固定金具
① 固定金具（大型）Ver.2：ステンレス鋳鋼品
② 固定ハンドル：ステンレス鋼棒
本体
③ スクリーン掛：ステンレス鋼棒
④ 固定ハンドル：合成樹脂
⑤ ウイング：ステンレス鋼棒
注：番号は１.外観図の番号に対応

＊【使用目的又は効果】

手術台に付属するアクセサリーであり、ウイング付きのスクリーン掛である。手術台のサイドレールに角度調節のできるレール固定金具を取り付けて使用する。

＊＊＊【使用方法等】

標準・開大棒



1-1 手術台のサイドレールにレール固定金具①を取り付けます。
1-2 スクリーン掛③をレール固定金具①に差し込み固定ハンドル②を締めます。
1-3 スクリーン掛③を持ち、固定ハンドル②を緩めて患者の体位に合わせて位置を調整します。
1-4 調整後、固定ハンドル②を締めてレール固定金具①によりスクリーン掛③を固定します。
1-5 必要に応じて、固定ハンドル④でウイング⑤の位置を調節します。

＊＊＊【使用上の注意】

重要な基本的注意

1. 締結部の固定は必ず確認してください。ゆるんだ状態では機器が外れたり、動いたりして患者に障害が起きるおそれがあります。

2. 手術台を作動するときは他のアクセサリーやテーブルトップとの接触・干渉に注意してください。
3. 分離式手術台での使用は分離時にストレッチャーレール受けに接触しない位置まで移動してください。接触するとテーブルトップの分離ができずアクセサリーが破損するおそれがあります。

＊【保管方法及び有効期間等】

１． 保管方法

高温・高湿を避け温度や湿度が極端に変化しない場所及び水のかからない場所に保管してください。

２． 耐用期間

適切な保守点検及び適切な保管をした場合：７年（注）
［自己認証（弊社データ）による］

注 耐用期間内であっても、使用状況又は使用頻度により、突発的な故障、部品の著しい消耗・劣化・破損等を生じた場合は該当部品の交換が必要です。

＊＊【保守・点検に係る事項】

＜使用者による保守点検事項＞

１．使用前・使用後の点検

使用前･使用後に「破損箇所がないこと」を確認してください。

２．清掃・消毒

血液・薬剤・汚染等の汚れを水で拭き取り、消毒液を浸したガーゼ等で清拭してください。なお、消毒液は弊社製手術台にて確認済みの消毒液と同一のものをご使用ください。確認済みの消毒液については手術台の取扱説明書をご参照ください。

３．故障時のお願い

本品が故障したと思われるときは、本品に「故障」･「使用禁止」･「修理必要」等の適切な表示をし、ご購入店又は弊社に連絡してください。

＜業者による保守点検事項＞

弊社及び弊社が認めた業者のみが実施可能です。それ以外の業者による保守・点検は、有害事象の発生、性能・機能低下の事態を招くおそれがあります。

＊【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：ミズホ株式会社
TEL 03(3815)3097

製造業者：ミズホ株式会社　千葉工場

＊ 保証期間に係る事項

本品は納品/設置してから１年間を保証期間として無償修理いたします。但し第三者が修理した場合、天災による破損、不適切な使用、あるいは故意による破損は除きます。その他保証条件は弊社規定に依ります。